

木質バイオマスガス化発電施設見学

生活環境部会（参加者 6 名）と資源循環・廃棄物部会（参加者 7 名）では、12 月 21 日（火）に衣川区にある黒滝温泉木質バイオマスガス化発電施設の視察と部会議を行いました。

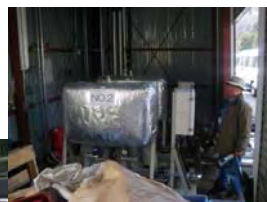
この施設は、①バイオマス資源で黒滝温泉の電気や灯油の一部を代替して、CO₂ 排出を削減する、②廃棄物を有効活用することで、未利用資源の利用率と市民の環境意識を高める、③森林資源を継続的に削減利用するサイクルを確立して、森林及び林業再生の手がかりとする、を目的として建設されました。



説明していただいた、地域エネルギー推進室の高橋補佐

木質バイオマスガス化コージェネレーションシステム

この施設では、地域で発生する2つのバイオマス資源（間伐材等の林地残材や端材、市内で発生する廃食油）を、木質チップやバイオディーゼル燃料（BDF）のエネルギー資源として利用して、温泉施設の消費電力や化石由来の燃料の消費を削減しています。



木質チップから発生するガスは、発生量が（木材の種類や材質、水分量の違いにより）一定でないため、発電量も一定になりません。そこで、BDF を使用し発電量を一定にすることで、均一の電力を供給することができるようになっています。それに使用されるBDFも、公共施設や一般家庭から排出される廃食用油をリサイクルしているということで、資源を有効に活用し、環境にやさしい施設であると感じました。



←黒滝温泉では、19 年度と 22 年度の比較で、灯油は4割、電気は5割の減となった月がありました。

第2弾！お米の食べくらべ！



生活環境部会は、1月29日(土)に水沢南公民館の調理室で「第2弾！お米の食べくらべ！」を開催しました。当日は14名(会員12名、一般参加者2名)の参加により、季節野菜を使ったお惣菜の調理、3種類の米の食べくらべなどを実施しました。

お惣菜の調理は、全国友の会水沢友の会の皆さんの指導のもと、参加者が3つの班に分かれ、「かぼちゃの団子汁」、豚肉やキャベツ、ジャガイモなどを使用した「茹で豚、蒸し野菜のトッピングいろいろ」、小麦粉ではなく米粉を使用した「スクエアクッキー」を作りました。調理経験の少ない男性参加者もいましたが、各班協力しながら無事に料理が完成しました。どの料理も素材を生かした一品で、とても美味しかったです。

3種類の米(無農薬米、江刺金札米、ブレンド米)は同じ条件で炊き上げ、食べ比べを実施。「それぞれ見た目も香りも違う。」「一番美味しいのは無農薬米だった。」という感想から、「味だけでは違いがわからず比較が難しい。」「普段食べなれているお米が一番美味しく感じた。」など、参加者が感じたことは人それぞれだったようです。

調理中はエネルギーの節約にもなる“なべぼうし”を随所で活用、また後片付けの際は合成洗剤ではなくせっけんを使用するなど、環境にもやさしい“省エネクッキング”を全員で体験できた一日でした。

★調理の様子★



今回は、「全国友の会水沢友の会」(左から佐々木さん、山田さん、三浦さん)に調理の指導などご協力いただきました。ありがとうございます！

環境にやさしい「なべぼうし」を調理途中の鍋にかぶせておくだけで、保温効果により味がしみこみ、ふっくら美味しい蒸し野菜料理が出来上がりました！



米粉で作ったクッキー。上から抹茶味・黄粉味・ゴマ味。

完成♪

茹で豚と蒸し野菜には、わさび醤油やマスタードなどお好みの味付けで！

3種類のお米。見た目で違いがわかりますか？



かぼちゃ団子がモチモチして美味しかったです！



食後には、「身土不二」についてのお話を聞きました。

いざ、実食！！



～身土不二(しんどふじ)～「自分の住む土地(半径7km以内)の食べ物が健全な心身を育む」という意味。



ジャスコ前沢店施設見学

生活環境部会（参加者4名）と資源循環・廃棄物部会（参加者7名）では、2月7日（月）に前沢区にあるジャスコ前沢店の見学と部会議を行いました。ジャスコ前沢店は、めぐみネットの企業会員として環境学習部会に所属しており、「地球にも人にもやさしい企業でありたい」という気持ちから色々な活動に取り組んでいる企業です。



施設外観

AEON

社員食堂：
もちろん消灯し
ていました。



←←←

エコバックやふろしきの販売をしていました。買い物かごのレンタルもしていました。

前沢ジャスコでは、買物袋を持参してくれたお客様に1回のレジ精算時に2円引きというサービスをしています。平成22年度は持参率45%でしたとのこと。

リターナブルハンガーを採用しています。
衣類を外したら取引先へ
戻し、再度衣類をかけて
納入されます。



紙パック、食品トレイ、アルミ缶、ペットボトルキャップの回収ボックスを設置し、リサイクルを推進しています。



会員リレー紹介

会員No.事-O1／環境学習部会所属

『イオンリテール株式会社 ジャスコ前沢店』

大内典子さん

イオンの環境保全活動は、「イオン温暖化防止宣言」「イオン生物多様性方針」の2つの指針を定めて取り組んでおります。

具体的には、買物袋持参運動、店頭リサイクル回収、ペットボトルキャップ回収などを行っております。

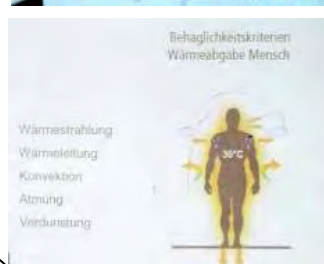
また、イオンチアーズクラブ活動では、従業員がコーディネーターとなり、地域のお子さまと環境についての学習、体験を行っています。

奥州めぐみネット会員として、これからも参加、協力してまいりますので、よろしくお願いします。

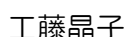


低炭素社会に向けた 12 の方策では、1 番目に住宅とオフィスがきます。

2010 年 6 月に世界的なパッシブハウスカンファレンスがあり、1 位と 4 位を含め 11 軒を回ることができましたが、建築中の家は皆パッシブハウスだったのです。



建築中の集合住宅(ドレスデン)と見学者



安倍 進

